

千島連盟別海町支部・青年部通信 No.44

2008(平成 20).6.17 発行

ご挨拶

ようやく初夏らしい天候となり、皆様には何かとお忙しい日を送られていることと存じます。

さて、本年千島連盟が創立50周年を迎え5月26日に開催された本部総会終了後には記念式典が開催されました。総会には磯田副町長にご臨席いただき、また式典実施に際しては管内1市4町のご支援を賜りましたことをご報告いたします。例年別海町から本部総会に参加する会員が少なく残念に思っておりましたが、役員によびかけ今年は私を含む6名が出席いたしました。

しかし、50年を経ても領土返還交渉に実質的な進展がありません。平成5年に青年部設立以来、後継者育成とその活動支援に努めておりますが、現状のまま後継者に領土返還を託すということではなく、元島民が健在のうちに進展させなければなりません。平成20年度支部総会も水沼町長はじめ多数のご来賓を迎え6月15日に尾岱沼にて開催したところですが、経済状況や高齢化など隣接地域を取り巻く状況は従来にも増して厳しくなっております。一日も早い北方四島返還実現はもとより、北方領土問題の外交交渉における長い膠着状態を脱し、具体的実質的な前進が図られるよう、強力な外交交渉展開を要請していくことを申し合わせました。皆様の声を国や本部はじめ関係機関へ伝えることが支部長の使命と存じますので、どうか忌憚のないご意見をお聞かせいただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支部長 臼田 誠治

本部総会 5/26 札幌市

北方四島の早期一括返還実現に向け、従来にも勝る強力な外交交渉を展開し、北方領土問題の具体的かつ実質的前進を図ること、財産権の不行使に対する直接的な補償措置、墓参と自由訪問の円滑な実施、後継者の育成強化の推進の施策を政府に強く要望することを決議しました。

- ①本年夏から自由訪問の参加枠、参加者数の拡大が実現し、子・孫の配偶者および複数の医師・看護師の参加が可能になった。H21年度から実施予定。
- ②渡航船舶が平成24年度供用開始となったが、早期就航について要望していく。
- ③旧漁業権者等に対する特措法改正(融資資格者の要件緩和)が4/1施行された。

(北海道知事挨拶)

- ◆プレストアの実施 ◆北海道情報館での紹介・展示の実施
- ◆プレスキットにパンフレット折込み等今年のサミットに向けた事業を展開する。

<創立50周年記念式典>

- ◆理事長並びに外務大臣表彰のあと、引き続き兵藤元欧亜局長の講演が行なわれた。

支部総会 6/15 尾岱沼

水沼町長、松本根室支庁地域振興部長、北対協榎原専門官をご来賓に迎え開催。28名の出席のもと今年度の事業計画、予算案が承認されました。

20年度これからの署名啓発活動
ぜひ多数のご参加を！

- 6/29(日) えびまつり会場10:00~
- 10/12(日) あきあじまつり会場(本別海漁港) 10:00~
- 2/初め ふゆとぴあ会場(別海農村広場) 10:00~
- 2/8(日) 白鳥まつり会場(尾岱沼) 10:00~



↑支部総会で挨拶する臼田支部長

青年部ホームページ原稿を募集します

青年部が平成8年5月にインターネットでホームページを開設して12年が経過しました。来訪者も11万6,000人を数えました。

7月上旬を目処にオピニオン(意見)コーナーを更新しますので、元島民・後継者問わずご意見を募集します。北方領土に関することであれば、返還運動に関する意見、北方海域に関すること、訴えたいこと、島の思い出など自由です。



↑ 青連協総会のような(4/5中標津)



↑ 4/18東北・国民大会に向け道内キャラバン隊事業に出発する青連協の仲間 (別海町役場表敬訪問時、白崎、池田、荒木、五百木4理事を派遣)
 < 関係事業の予定 > 随時ご案内します

期 日	事 業 内 容	場 所	摘 要
9/7(日) 雨天中止	北方領土青少年洋上セミナー	羅臼発着	青連協主催
9/12~15 (金~月)	北方四島交流訪問 「新しい形の対話集会」 (青連協会員と青年層対象)	択捉島	青連協主管
9月(土日)	「後継者活動促進全国会議・セミナー」	札幌市	本部主催
11月中旬	後継者語り部育成レベルアップ事業 (管内登録者対象)	別海町	本部主催
2/7(土)	管内住民大会	根室市	北隣協主催
2/初め(土日)	後継者研修会	札幌市	本部主催
2/末 (土日)	北方領土問題「現地青年の集い」	羅臼町	本部主催 青連協主管

支部会員	うち 賛助会員	うち元島民 (S20.8.15以降に北方 地域で出生した者含む)	うち後継者	後継者のうち 青年部加入
193	3	113	77	34
青年部員数			支部加入	支部未加入
68			34	34



北方四島居住地図「択捉島」も完成しました

「国後島」に続き「択捉島」(A3サイズ/32ページ/5万分の1)も完成しました。(聞き取り調査により終戦時の世帯主名を記載、作成)
ご希望の方にコピーいたします。

「会員親睦パークゴルフ大会」を行ないます！7/13(日)尾岱沼

会員親睦のパークゴルフ大会を7月13日(日)に開催します。臼田支部長よりトロフィと賞品を寄贈いただきました。交流しながら島のこと話しませんか？ぜひご参加ください。(別紙をご覧ください)

あ と が き

- ★ 先般佐藤優氏(現在外務省を退職中、作家として活躍)の講演会があった。地域エゴ(ただし国民の理解が得られるエゴ)をもっと政府に働きかけてもよいのではないか、北方四島でのビジネスや環境問題に分野を広げ領土問題を前進させるべきだという。
- ★ 領土問題には大義がある。だが大義を主張するだけでは交渉が進展しないことも元島民は嫌と言うほど知っている。返還要求の最終目的は言うまでもなく四島返還だ。が、返還運動の先頭に立つ隣接地域住民の生活が厳しい中、ロシアが島を整備しているのを見ているしかないのは本末転倒だろう。私たちはそこをもっと主張すべきかもしれない。(A)